

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

JALSG AML201 地固め療法②

Ara-C[200mg/m²]+DNR 療法

疾患 白血病

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	day2	day3	day4	day5
キロサイド(シタラビン)	200 mg/m ²	→	→	→	→	→
ダウノマイシン(ダウノルビシン)	50 mg/m ²	↓	↓	↓		

- 【注意】
- * 1日の尿量が2000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
 - * 腫瘍崩壊症候群予防のため、キサンチンオキシダーゼ阻害薬あるいはラスブリカーゼの投与を考慮する。
 - * シタラビンはインフュージョンポンプを使用して5日間持続静注する。
 - * 必要な場合はNK₁受容体拮抗薬の使用を考慮する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 - 3

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ① 生食 500mLにて血管確保 | 維持(20mL/時間) |
| ② グラニセトロン注 3mg 1筒 | ④開始の30分前に静注 |
| ③ キロサイド + 生食を加えて48 mLとする | 持続静注 24時間 (2 mL/時間) |
| ④ ダウノマイシン + 生食 100 mL | 点滴静注 30分 (200mL/時間) |

day 4, 5

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ① 生食 500mLにて血管確保 | 維持(20mL/時間) |
| ② キロサイド + 生食を加えて48 mLとする | 持続静注 24時間 (2 mL/時間) |

	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
キロサイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
ダウノマイシン 開始時刻	↓	↓	↓		
確認					